広告

7年目を迎えたエコチル調査から今とこれからが見えてきました。

子どもの健康と環境に関する全国調査

高知県で約7000組の親子が参加しているエコチル調査。7年目を迎えて調査項目の集計結果が少しずつ明らかになってきました。この機会に、調査に参加していただいているお子さんたちのお母さんにお集まりいただき話をうかがいました。

日本全国で約10万組、高知では約7000組が参加

尾﨑　エコチル調査ではどのようなことが調べられているのですか。

菅沼　環境中の化学物質が子どもたちにどんな影響を与えているかを明らかにすることを目的に、お母さんのお腹にいる頃から13歳になるまでの健康状態を追跡調査しています。環境省を中心に日本全国15か所の拠点で約10万組を超える親子に参加していただいている壮大な調査です。四国では高知県が唯一対象地区として選ばれていて約7000組の親子にご協力いただいています。

尾﨑　エコチル調査はお子さんが13歳になるまでご協力いただく、とても長い調査なのですね。

菅沼　現在は調査を始めて7年目で、初年に参加した子どもが平成30年度に小学生になります。ようやく13年の半分に到達したところで、これからまだまだ続きます。

尾﨑　この調査が始まることをお母さんとしてどう感じましたか。

正岡　とてもいいことだと思いました。花粉症やアトピーなど昔はなかったと聞きます。目に見えない原因があるかもしれないし、いろいろ調べていくと他にも何かあったときに役に立つのではないかと思います。

上田　私の子どもにもアレルギーがあります。原因がわかれば他のお母さん方も安心されると思いますね。

上田奈保さん(45歳)
エコチル調査参加　4歳男の子

集計データからわかってきたこと

尾﨑　今までの調査で明らかになってきたことはありますか。

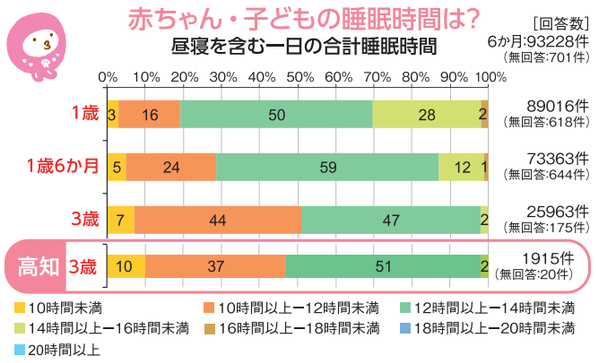
満田　はい、いろいろあります。妊娠中や幼児期くらいまでの生活習慣などの統計が出てきています。例えば、1歳から3歳の一日の合計睡眠時間は、全国で一番多いのは12～14時間未満です。3歳なら10～13時間が推奨されますが、高知は10時間未満が全国平均より多いです。1歳から3歳の就寝時刻は9時台が一番多いですが、高知は全国平均より少し遅いようですね。このデータが健康にどれだけ影響してくるかがわかってくるのはこれからです。調査では家庭環境についてもお答えいただいているので、子どもの睡眠時間に関係する家族の背景も見えてくると思います。

尾﨑　一つの事柄もいろいろな角度で読み取ることができるんですね。他にもありますか。

満田　妊娠中に喫煙をしていたお母さんから生まれたお子さんは出生体重が120～130gくらい低いというデータが出ています。また、高知から論文を発表しているのは、産後うつになりやすいお母さんのリスクです。妊娠前のいくつかの婦人科系疾患がリスクを少し上げるのではないかということが出てきています。皆さんが気になる子どもさんの疾患についてはまだはっきりとデータには出てきていませんが、今後いろいろなことが整理されて明らかになってきます。

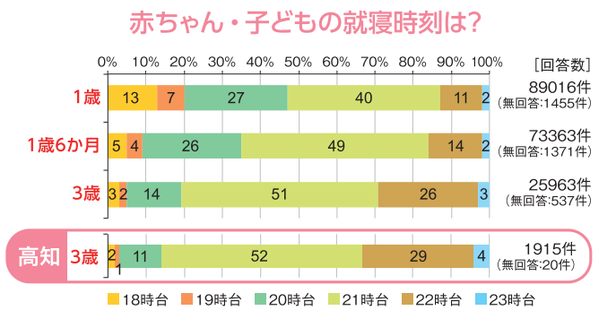
菅沼　全国約10万組のデータ入力が正確にできたあとに分析を行いますので、どうしても時間がかかります。初年に参加した子どもたちが7歳になるこの時期は、病気の子どもさんの数がわかってくる頃なので、環境因子とお子さんの健康を見る上で非常に重要なタイミングにきていると思います。

満田直美さん(41歳)
高知大学医学部附属病院小児科医師
6か月男の子 子育て中



●3歳児の場合、全国で7%、高知では10%のお子さんが推奨睡眠時間(10～13時間※)に足りておらず、睡眠不足による影響が懸念される。

※全米睡眠財団による



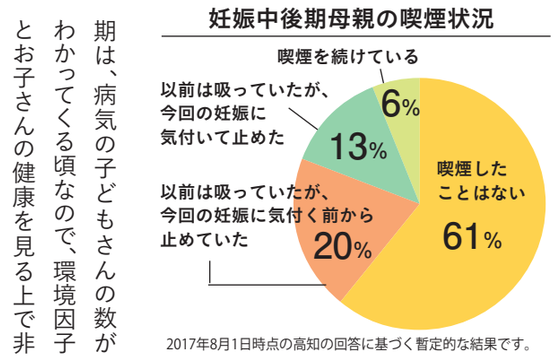
●3歳児の場合、22時以降に寝ている子どもが約3割

※質問票の18時から23時半までで、はじめてチェック(横線)がついた時刻を就寝時刻として集計したもの。

この結果は2015年11月20日時点の回答に基づく暫定的な結果です。

お子さんの眠りについて、1歳・1歳6か月・3歳でお聞きしました。全米睡眠財団(The National Sleep Foundation)の発表では、1、2歳の推奨睡眠時間は11～14時間、3歳児だと10～13時間とされています。

全国では3歳児の7%、高知では3歳児の10%の睡眠時間が、10時間以下(1～3歳の推奨睡眠時間以下)でした。就寝時刻が遅いと睡眠時間が短いといわれていますが、エコチル調査のお子さんの睡眠時間はどうでしょうか?就寝時刻についてお聞きしたところ、全国では、1歳の時は47%のお子さんが21時までに寝ていましたが、1歳6か月時では35%、3歳時では約19%と減り、高知の3歳児では、21時までに寝るのは14%と全国より少ない結果でした。



2017年8月1日時点の高知の回答に基づく暫定的な結果です。

妊娠中もタバコを吸っていたお母さんから生まれた子どもは、妊娠中にタバコを吸っていないお母さんから生まれた子どもに比べて出生体重が少ない傾向にあるという研究結果が発表されました。

妊婦の喫煙と出生体重

●男児

母親の喫煙状況	調整後出生体重(g)
喫煙経験なし	3096.2
妊娠前から禁煙	3089.2
妊娠初期から禁煙	3068.4
妊娠中も喫煙	2959.8

-136.4g

●女児

母親の喫煙状況	調整後出生体重(g)
喫煙経験なし	3018.2
妊娠前から禁煙	3030.9
妊娠初期から禁煙	2978.6
妊娠中も喫煙	2893.7

-124.5g

※調整後出生体重は、最小2乗法により共変量(父親の喫煙状況、世帯収入、出生順位、妊娠高血圧症候群、糖尿病/妊娠糖尿病、母親の妊娠前体重・妊娠中の体重増加・出産時の年齢、及び妊娠期間)の調整を行い、推定。

環境省HPメールマガジン第38回掲載

こうちエコチル調査キャラクター
ちょるるん
Cholulun

調査に参加して感じた、いろいろなこと

尾﨑　今まで調査の質問票に記入してきて、困ったことはありますか。

正岡　記入するのは仕事や家事の合間を利用して30分くらいで終わりますが、うちの場合は子どもの身長・体重・頭囲を測るのを、毎日何かと忙しくてつい忘れてしまうんです(笑)。本当はもっと早く提出したいのに、そのためにいつも遅れてしまいます。それで身長を測るときに子どもが喜ぶかわいい身長測定シートを壁に貼りました。

山本　私も使っています。エコチル調査から送られてきましたよね。

菅沼　なるほど、それはいいですね。私は子どもが5人いますがセロハンテープを貼ってその上に印を付けるようにしました。時々は「お父さんとどっちが大きい?」と言って一緒に測ったりもしました。

満田　お母さん方は質問票を書くことで生活を振り返るようなことはありますか。

正岡　あります。『何を食べさせていますか?』という項目を見て〝あっ最近魚をあまり食べさせてないな〟と気づいたり、睡眠時間なんかも〝そうだな、早く寝かさなきゃいけないな〟と思ったりします。いろんな質問から生活を見直しますね。

山本　私も睡眠時間はずっと気になっていて、この結果を見て早めに寝かせなくてはと思いました。

尾﨑　では、参加してよかったと思うことはどんなことでしょう。

上田　自分の子育てが質問票を見ながら確認できて、〝ここまでしようか、このレベルまで上げようか〟というのがチェックできるかなと思います。

山本　調査は13歳までと長いので結果がすぐにわからないのは残念ですが、最後まで見届けたいと思います。これが未来の子どものためになるということが一番のメリットだと思います。

正岡真紀さん(50歳)
エコチル調査参加　6歳女の子

山本扶有子さん(34歳)
エコチル調査参加　4歳女の子

子どもが8歳になる年に、検診会を実施

菅沼　環境省では子どもが8歳になる年に、いろいろな検査を行う学童期検査を計画しています。高知では、子どもさんが8歳になったときに集まっていただいて、小児科の先生方にご協力いただきながら採血を含めたいろいろな検査を実施しようと考えています。コンピューターを使ってお子さん自身に質問に答えてもらったり、楽しみながら検査ができる内容にしたいと思っています。実際に会って検査をしてみないとわからないことがいろいろありますから、ぜひご参加いただきたいと思います。

菅沼成文 教授(50歳)
高知大学医学博士
高知エコチル調査ユニットセンター長
14歳～21歳4男1女の父親

未来の子どもたちのために今できること

尾﨑　今後のエコチル調査に期待できることはどんなことですか。

満田　日本でこんなに多くの子どもさんの13年にわたるデータが残るというのはすごいことです。半年に一回ではありますが、お忙しい中での質問票の記入は大変だと思うので皆さんが提出してくださっていることにとても感謝しています。まだ数年先にはなりますが、たくさんのデータをもとにお母さんたちが知りたいアレルギーのことや心配されているその他のことが調べられると思います。皆さんに発表できるよう頑張ってまいりますのでご期待いただきながら引き続きご協力をお願いしたいと思います。

尾﨑　最後にエコチル調査に参加する意義を改めてお聞かせください。

菅沼　実際に参加されている方々が参加してよかったと思えるようこれからも結果のお返しをしていきたいと思います。何よりも、皆さんからの情報提供が、お子さんの世代、その次の世代、また次の世代において、健康で安全に暮らしていける環境を作る貴重な資料になります。この調査は世界中から注目されていて10万人規模で行われているのはノルウェーとデンマークと日本だけです。その中でも日本は密度の濃い調査を行っていて、やがては世界中のお子さんの健康と環境についての情報が世界に発信できます。そんな重要な調査を高知で行っていることをもう一度ご認識いただいて、周りの方々にも知っていただけたらありがたいと思います。

尾﨑美樹さん(43歳)
フリーアナウンサー
10歳男の子　子育て中

座談会にご協力、ご参加いただいたみなさん。

お問い合わせ

● エコチル調査コールセンター <全国共通>
0120-53-5252
年中無休 9:00－22:00

● エコチル調査ホームページ
エコチル調査 検索
http://www.env.go.jp/chemi/ceh/

高知大学は、平成22年4月12日、環境省の進める「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」のユニットセンターに認定されました。

● こうちエコチル調査に関するお問い合わせ <高知県>
TEL 088-880-2173 土・日・祝日をのぞく 9:00 - 17:00
mail info@kochi-ecochil.jp
こうちエコチル 検索 http://kochi-ecochil.jp/

高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮

高知大学内 朝倉分室
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1

こうちエコチル調査
Kochi/Nankoku/Konan/Kami/Shimanto/Sukumo/Tosashimizu/Yusuhara/Kuroshio/Otsuki/Mihara

高知大学 Kochi University

エコチル調査スタッフより

調査に参加されている方々の生の声が聞けて、「なるほど」と思うお話が伺え、とても参考になりました。「質問票調査で最も大変な項目は、身長測定」という言葉に、スタッフからは「そうだったんだ!」という声が上がりました。

エコチル調査スタッフにとって、参加者の皆様とお会いする機会は、大変貴重な時間です。今回お聞きした話を参考に、“子ども達の健やかな未来”のために、調査をこれからも進めてまいります。

参加者の皆様には質問票やこれから始まる学童期の検査にご協力いただけるよう、またエコチル調査に参加されていない皆様にもエコチル調査について知っていただけるよう調査の結果などを発信してまいります。